

## メタファスト

### 【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと(使用上の注意の項参照)。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 本材の変質を避けるため、ダッペングラス等に小出した余剰の粉材、液材は容器に戻さず廃棄すること。
- 2) 使用後はすぐに閉栓すること。
- 3) 製作された義歯床は口腔内に装着するまで水中に保管すること。

### 【形状・構造及び原理等】

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
粉材	粉末	メタクリル酸エステル類の共重合体、BPO、その他
液材	液体	MMA、芳香族アミン、その他
ボンディングライナー	液体	MMA、4-META

付属品: 竹筆、スポイト

### 【使用上の注意】

#### ※1) 使用注意

- ① 他の製品と混合して使用しないこと。
- ② 液材とボンディングライナーは可燃性である。火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- ③ 液材とボンディングライナーは揮発性が高いので取扱中にこぼさないこと。高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛などの恐れがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所へ移動すること。
- ④ 使用するときは、適切な換気(1時間当たり数回)を行うこと。
- ⑤ 硬化物の表面は研磨し、滑らかな面とすること。
- ⑥ 使用後の筆は洗浄し筆先を揃え保管すること。

#### 2) 重要な基本的注意

※1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

② 本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、医師の診断を受けること。

③ 本材及び混和物を口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合は、すぐにアルコール綿などで拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。

④ 使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

#### 3) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

### ※【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・ 液材とボンディングライナーは火気厳禁のこと。
- ・ 多湿、直射日光を避け、室温(1℃～30℃)の暗所にて保管すること。
- ・ 同一保管場所に大量に保管しないこと。
- ・ 保管場所及び使用場所には消火装置を備えること。
- ・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[使用期間]

本体に記載の使用期限\*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証(当社データ)による。]

※(例 □○○○-△△は使用期限○○○年△△月を示す。)

### ※【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: サンメディカル株式会社

(本社) 住所: 〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号: 077-582-9980

フリーダイヤル: 0120-418-303 (FAX共通)

電話受付時間 月～金(祝日を除く)午前9:00～午後5:30

ホームページ: <http://www.sunmedical.co.jp>

### ※【使用目的又は効果】

本品は歯肉色及び歯冠色からなり、ボンディングライナーを用いることにより歯科用金属に接着する特性を有する多目的即時重合レジンである。従って陶歯、レジン歯の脱落、クラasp、バーのはずれ、床の破折、床縁の延長、豊隆、レジン歯咬合面の追加、修正等の義歯の補修、暫間被覆冠の製作など広範囲の用途に応用することができる。

### ※【使用方法等】

#### 1) 粉材、液材の使用法

適用症例に合わせて下記いずれかの使用法で操作します。

##### ① 混和法

(1) ダッペングラス等に液材をとり、粉材を加え、素早くプラスチック等にて10～15秒混和します。

[標準粉液比 粉材:液材=3:2(重量比)]

(2) 混和完了後、柔らかい餅状となります。

(3) 餅状となったものを圧接し使用します。

※混和完了後1分間で硬化が始まりますので、それまでにすべての操作を完了させてください。

##### ② 筆積法

(1) 必要量の粉材と液材を別々のダッペングラス等に採取します。

(2) 筆先を液材に十分浸し、縁で筆先をそろえます。

(3) その筆先を粉材につけて玉をつくり使用します。

・ 繰り返して行う場合は筆先についたレジンガーゼ等でよくふき取ってから液材に浸してください。

・ 液材は揮発性です。採取後の液材は、増粘して使いにくくなる前に速やかにお使いください。

##### ③ フリカケ法

(1) 少量の粉材をうすく散布します。

(2) 散布した粉材の上に液材を滴下して浸透させます。

(3) (1)、(2)の操作を繰り返し、必要に応じて混和法、筆積法を併用します。

(37℃)

筆積法の硬化時間	
メタファスト	約4分30秒
メタファストQ	約3分30秒

#### 2) 金属表面の処理

クラasp、補強線部分の補修等金属接着性が必要な場合は、以下の手順で予めボンディングライナーで金属面処理します。

##### ① 金属面の前処理

接着面を50μmのアルミナによりサンドブラスト処理をした後、水洗、乾燥します。

##### ② ボンディングライナーの塗布

付属の竹筆、あるいは綿球にて被接着面にボンディングライナーを一層塗布し軽くエアブローします。

・ 貴金属は、ボンディングライナー塗布前に貴金属面処理を行ってください。